

令和7年度放課後等デイサービス 保護者等向け評価アンケート 実施報告

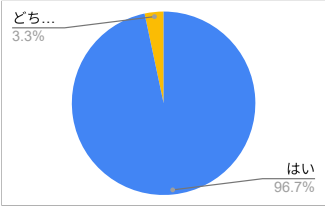
1. 実施概要

実施事業者/事業所：株式会社Kaien ティーンズ三鷹
実施期間：令和7年10月1日～10月31日
回答者：放課後等デイサービス利用者保護者
回答者数：30 名
回答率：40.0 %

2. 回答結果

①子どもの活動等のスペースが十分に確保されていますか。

はい 29 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 1 名

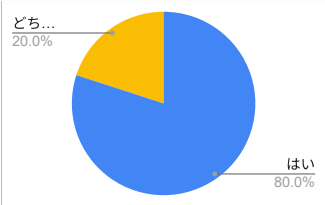


※①に関するご意見があればご記入ください

活動内容が運動療育ではないので、各自作業するには十分なスペースがあり、また気持ちの切替できる個室も設置されているので問題ないと思います。

②職員の配置数や専門性は適切と感じられますか。

はい 24 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 6 名

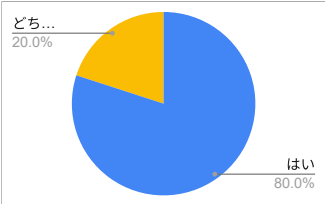


※②に関するご意見があればご記入ください

マインクラフトの回。(授業参観)
先生方も自ら「詳しくない」とおっしゃっていました。息子もマインクラフトはやったことがありますので、全く出来ず。お友達が助けてくれ、それはそれで、息子もお友達もお互いに関わり合いのよい経験、体験にはなったのかとは思いますが、やはり、しっかり教えてくださる先生がいてこそその授業をお願いしたいとは思いました。
職員さんは何人かお会いしたことはありますが、全体的にどのような方がいらっしゃるか、また職員さんの人数などよくわからないため。

③事業所の設備等は、特性に応じた配慮がなされていますか。

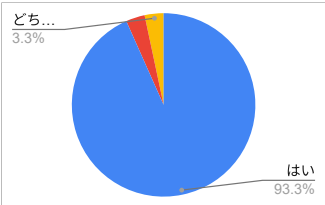
はい 24 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 6 名



※③に関するご意見があればご記入ください

④子どもと保護者のニーズや利用終了後を見据えた課題が客観的に分析された上で、放課後等デイサービス計画が作成されていますか。

はい 28 名
いいえ 1 名
どちらともいえない 1 名

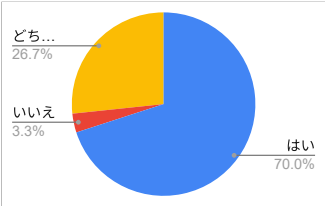


※④に関するご意見があればご記入ください

子供の様子と保護者との面談から、計画を考える際に単に保護者の希望を取り入れるだけではなく、専門的な視点からのご提案などがあるのでありがたいです。

⑤プログラムは定期的に見直されていると感じていますか。

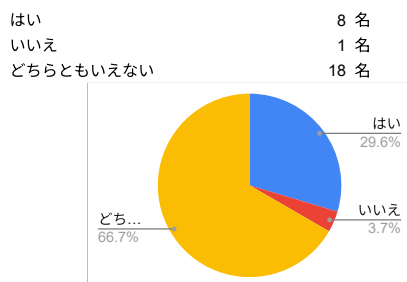
はい 21 名
いいえ 1 名
どちらともいえない 8 名



※⑤に関するご意見があればご記入ください

いつもやることは、スタッフの方と話すかゲームするかで、話をするを選択すると、体験したことを話させてスタッフさん共感するというパターンですが、何かそれ以外にも突然の予期しない質問に答える練習とかこれから新しい場所に行った時を見据えた練習もして欲しいです。

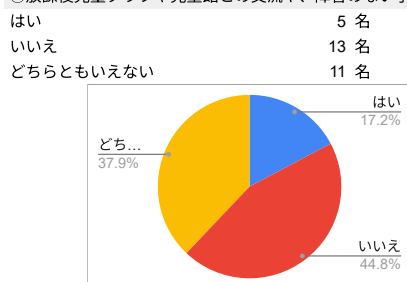
⑥ ティーンズ では地域を問わず同年代のお子さんと双方向に関ることができるオンライン講座をプログラムとして提供しています。このプログラムに内容に満足していますか。



※⑥に関するご意見があればご記入ください

子供が興味を示してくれないので是非やらせてみたいがやったことがない。こんな事が出来るという事。少しずつ新しい事やってみて卒業後に繋がる練習してみたいかと提案して欲しいです
講座を受けた事が無い為どちらともいえない
各プログラムや講座に興味はあるが、学校生活と週末の余暇、勉強を含め、オンライン講座を見たり参加したりする時間を確保するのが難しい、ら
子供は参加する気がないため残念です。

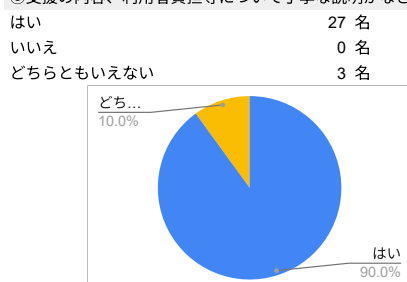
⑦放課後児童クラブや児童館との交流や、障害のない子どもと活動する機会はありますか。



※⑦に関するご意見があればご記入ください

教室内での交流があって良いと思います。
在籍校で一般クラスのお子さん達と過ごしていましたが、上手く関われないと感じていたようです。

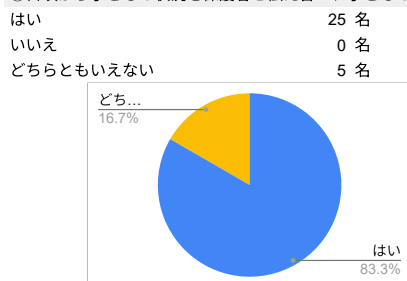
⑧支援の内容、利用者負担等について丁寧な説明がなされていますか。



※⑧に関するご意見があればご記入ください

こんなこともできるというような内容の話は面談の時言われましたが、やる事は娘に託しているようで。いつも内容がワンパターンな気がします
3月に前任の担当者が退職された際、担当変更について保護者に連絡がなく、後任の方からの別件の連絡で初めて知りました。利用者自身が最新情報のページを見てくださないと事業所の方針を強調されました。いろいろな事情があると思いますが、引継ぎが十分されていない印象でした。またその時のやり取りが「電話が長くなる傾向」と支援計画に書かれていたのは残念でした。

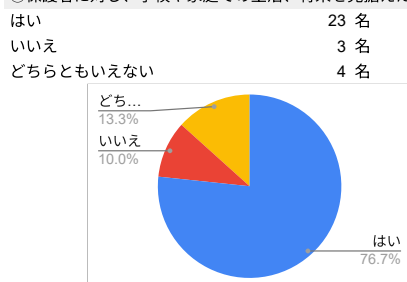
⑨日頃から子どもの状況を保護者と伝え合い、子どもの発達の状況や課題について共通理解ができていますか。



※⑨に関するご意見があればご記入ください

理解できていると思います
面談を通じて課題の共通理解は深まりました。その後体調を崩して何度かお休みになってしまいました
慣れている場であるからこそコミュニケーションの練習の場として機能してほしいと思っています。
セッションの報告や、支援計画の作成時の面談等で共通認識を得ていると感じている。
個別の相談やペアトレなどの機会を通じて、悩みをお伝えしたり、スタッフさんからお話などをお伺いできたりしていると思います。

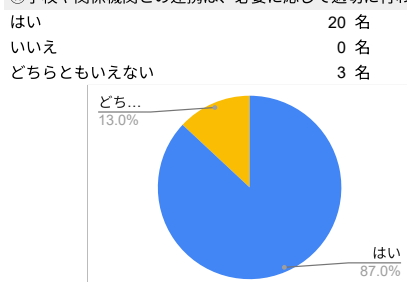
⑩保護者に対し、学校や家庭での生活、将来を見据えた助言等の支援が行われていますか。



※⑩に関するご意見があればご記入ください

保護者に対しては何も助言された事はないと思います。家庭でやってみるといいことなどありましたら教えていただきたいです。
双方向のコミュニケーションはあまりありません
支援計画の修正により、将来を見据えた目標は明確になりました。面談では、「モヤモヤを言葉にする」という専門的な個別支援（学校での困り感解消に繋がる）のご提案もいただきました。ありがとうございます。
現状はグループ指導が中心であるため、息子ばかりに指導できないと思いますが、学校や家庭での具体的な困り感（例：場の空気を読まない発言、鍵の置き忘れなど）に対する助言をいただくとありがたいです。息子は個別セッションの追加を希望しておらず、現在の集団の場での限られた時間の中でも、個別的な課題に寄り添う声かけを工夫していただけることで、支援計画の目標達成に繋がると考えます。
子供の進路等でとても悩んでいた時、面談して頂き、とても助かりました。心強かったです。

⑪学校や関係機関との連携は、必要に応じて適切に行われていますか。

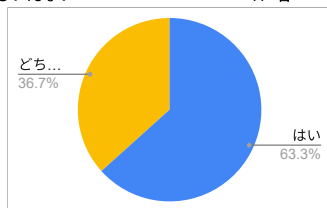


※⑪に関するご意見があればご記入ください

定期的に学校に行ってくださいというのはありがたいです。ただ学校はそれでも娘に何も語りかける事はないので、こちらでなんとかおしゃべり出来るようなご指導をお願いしたいです

⑫ペアレントトレーニングやウェブセミナー、保護者会の開催は、保護者同士の連携や家族に対する支援として適切ですか。

はい 19 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 11 名

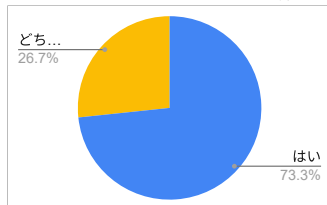


※⑫に関するご意見があればご記入ください

なかなか参加できないので
参加したいが仕事で行けない事が多いのが残念
こういった機会は必要と感じています。

⑬子どもや保護者からの苦情について、対応の体制を整備するとともに、子どもや保護者に周知・説明し、苦情があった場合に迅速かつ適切に対応していますか。

はい 22 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 8 名

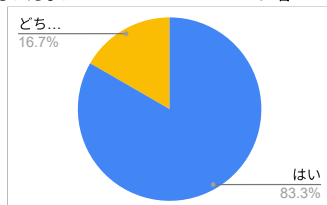


※⑬に関するご意見があればご記入ください

わかりません
支援計画の当初の対応は疑問がありましたが、面談の機会設定や計画の修正をいただきました。切
手不足やセッション記録の不備などもありましたが迅速かつ適切な対応していただいています。
そういったケースを存じないため。

⑭保護者や子どもに対しそれぞれ個別の面談やアンケートを行っているが、思いを伝える場として満足していますか。

はい 25 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 5 名

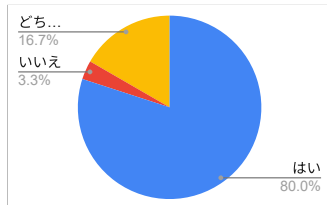


※⑭に関するご意見があればご記入ください

お伝えしたものがあまり反映されていないように感じます
長いあいだ大変お世話になっております。安心して意見を伝えられる関係性を希望しています。
子供は個別の面談の時に色々話せているようです。保護者としては「いつものアンケート」のように
心配事や子供の様子などを書かせていただける場があるのはありがたいです。

⑮HP定期的に最新情報やメールを通じ、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報や業務に関する自己評価の結果を子どもや保護者に対して発信していますか。

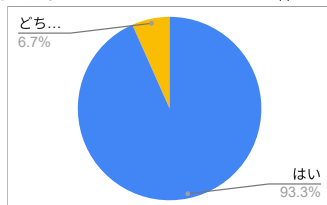
はい 24 名
いいえ 1 名
どちらともいえない 5 名



※⑮に関するご意見があればご記入ください

⑯個人情報に十分注意していますか。

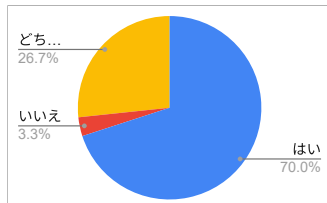
はい 28 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 2 名



※⑯に関するご意見があればご記入ください

⑰緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアルを策定し、保護者に周知・説明されていますか。

はい 21 名
いいえ 1 名
どちらともいえない 8 名

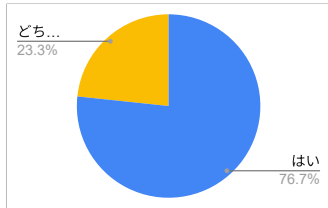


※⑰に関するご意見があればご記入ください

わかりません

⑮非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出、その他必要な訓練が行われていますか。

はい 23 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 7 名

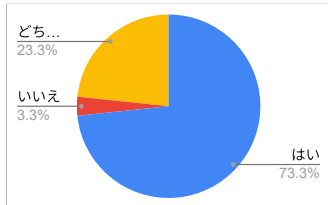


※⑮に関するご意見があればご記入ください

避難訓練の時間帯が合わない時もあるようです
わかりません

⑯子どもは通所を楽しみにしていますか。

はい 22 名
いいえ 1 名
どちらともいえない 7 名

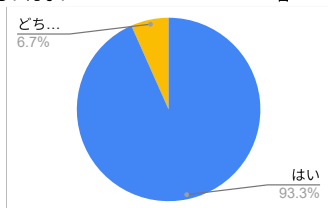


※⑯に関するご意見があればご記入ください

その時の気分次第
早くから行けるように水曜日にしているが、なぜか行きたくないようです。本当は学校の宿題など多いので持って行って欲しいがそれも嫌がる。その後塾なのでその日は寝るのが更に遅くなる。
ティーンズに行かせるために水曜日を仕事やすみにしている。
体調も安定し、おかげ様で負担に感じることなく前向きに通所できるようになりました。
スタッフの方に話を聞いてもらえたりして、保護者としてもとてもありがたいです。

⑰ティーンズ にしかできないサービスが提供されていると感じますか。

はい 28 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 2 名



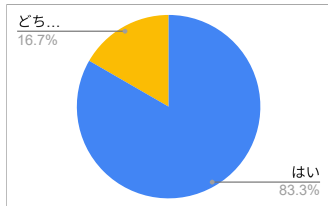
※⑰に関するご意見があればご記入ください

子供が他の子と少し考え方にズレがあることを理解できていないから
お仕事体験プログラム自体は独自のサービスだと感じます。グループセッションの場でも、個別の課題に合わせた声かけを工夫していただけることを希望します。
・長く繋がる居場所として子どもの理解と支援をしてください、医療や学校との連携もしていた
だけの為、子も親も安心感があります。

・自分理解講座も、沢山のお子さんを長く見ているTEENSならではのと感じています。

⑱ティーンズ の支援に満足していますか。

はい 25 名
いいえ 0 名
どちらともいえない 5 名



※⑱に関するご意見があればご記入ください

少し先生方が優しくすぎていると思っています。社会に出た時のことを考えるともう少し厳しく接してもいいと思
います。
お話を聞き出していただき、たくさんお話ししてくる事には満足ですが、もう少し変わったこともしていただ
きたいです
高卒後の支援があるとありがたい
今は1週間の様子を聞かれたままに答え、すぐ帰るだけになっており、悩みを抱えている子供にとって必要な
活動ができていないのか、毎週いただいているご報告からは分からない状況です。
このまま通ってよいものか考えています。
昨日お送りしたつもりだったのですが重複していたら申し訳ありません。よろしく願いいたします。
より子どもに合わせた困りの軽減(対策)とSSTを復学と社会にでることを見据え身につけさせたく、他の機関も
探しています。
TEENSにも盛り込まれていますが、今後さらに具体的スキルとして身につけられるプチ講座などあれば参加させ
たいです。
(慣れ親しんだ場所だと参加しやすいと感じたので)
毎回比較的積極的に通っており、スタッフの方とお話をしたり他のお子さんと交流したり、よい影響を受けて
いると感じています。

3. 事業所考察

【総評】

＜全体傾向＞

30名の保護者様にご回答いただき、アンケートへのご協力に心より感謝申し上げます。全体の約8割以上の項目で「はい」のご回答をいただいております。特に「ティーンズ独自のプログラム（お仕事体験等）」（Q20）や「個人情報の取り扱い」（Q16）、「個別支援計画の作成プロセス」（Q4）においては高い評価をいただいております。一方で自由記述や「どちらともいえない」の回答から、主に以下の3点に課題が集約されました。

＜課題点＞

- ・ **プログラムの多様性と実用性:** 「ワンパターン化している」「優しくすぎる」とのご指摘があり、お子さんがより社会に出るための実践的な「厳しさ」や「予期せぬ事態への対応」を学ぶ機会が求められています。
- ・ **情報共有と連携の質:** 担当変更時の引継ぎ不足や、職員の顔が見えにくい点など、事業所と家庭をつなぐコミュニケーション面に改善の余地があります。
- ・ **オンライン講座の活用:** 興味はあるものの「利用したことがない」「きっかけがない」という声が多く、活用のハードルを下げる工夫が必要と考えています。

＜今後の対応＞

本結果については、令和7年11月4日に事業所内会議において共有、討議を行いました。保護者の皆様へのフィードバックは12月の定期連絡にて実施するとともに、事業所内に掲示を行います。

- ・ **プログラム内容の検討** ご要望のあった実践的なSST（ソーシャルスキルトレーニング）やオンライン講座の活用について、今後の活動にどのように取り入れられるか、検討を進めてまいります。
- ・ **連絡・引継ぎ体制の徹底** 職員の変更や異動の際は、保護者様への事前連絡と丁寧な引継ぎを徹底し、安心して通っていただける体制を再構築します。
- ・ **具体的な課題解決への助言** 面談等の機会を通じ、単なる傾聴にとどまらず、ご家庭や学校での具体的な困り感に対して、専門的な視点から解決策を提案します。